



令和4年度第74回柏葉祭が行われました



今年度も公開は中止となりましたが、クラス、部活動で団結し、創意工夫をした発表ばかりでした。

そして、何より、生徒の笑顔が輝き、はじけた2日間となりました。





YCK PROJECT REPORT

地域課題解決型キャリア教育「吉高地域キラメキプロジェクト」

地域をフィールドに多様な人とのつながりが価値ある学びをつくる

第4号

7月5日

2022

発行

2年生「総合的な探究の時間」で、特別授業を行いました！

2年生「市長ワークショップ」

◆日 時：令和4年6月27日(月)7限

◆場 所：吉城高校体育館

◆講 師：飛騨市長・都竹淳也 様

◆参加者：2年生(93名)



2年生の「総合的な探究の時間」の単元「地域版SDGsをつくろう!」では、地域の課題を発見し、持続可能な地域づくりのアイデアを考えることに取り組んでいます。その探究学習をよりよく進められるように、この日の授業は、講師に市長さんをお招きしてワークショップを行っていただきました。

「普段の生活の中で、困っていること・問題だと思っていることは何ですか？」という

市長さんからの問いについて、生徒は自分自身と家族の2つの視点から考えてから、このワークショップに臨みました。身近な困りごとや問題から、どのように課題を設定するといったのか、その考え方を身に付けることを、この授業の目的としたからです。生徒は通学や娯楽に関することを問題として挙げていましたが、親の世代は子育てや就職を、高齢者世代は健康やお金に関することを挙げていました。このように、世代によって課題と捉えていることが違うことを確認したうえで、日頃から市の課題と向き合う市長さんは、課題を設定するための考え方として、

「課題＝理想－現実」を提示されました。

「こうだったらいいのに」という理想から、「それなのに、実際は…」という現実を差し引くと、課題は「困りごとや不満」として表れるので、あらゆるコトや人に対する【好奇心】と【観察力】、そして、理想の姿を想像し、それとのギャップを解消するための方策を巡らす【考え抜く力】を鍛えましよう、今後の探究を進めていく生徒を激励していただきました。

また、さまざまな課題は、「人口減少」が起因していることにも触れられました。人口減少は数年で解決する問題ではないことをデータを示しながら指摘され、飛騨市が「人口減少を前提に」課題解決策に取り組んでいる事例として、「移動販売」や「飛騨市ファンクラブ」、「ヒダスケ!」などを紹介していただきました。

この授業を踏まえて、今後、生徒は探究する課題を設定し、夏休みに地域の方々へのインタビュー調査などを実施します。

お忙しい中、熱い授業を行っていただき、ありがとうございました。



生徒のワークシートから、「ワークショップでの印象」を抜粋しました。 **普段の「困りごと」から「課題」を設定するには？**

2年 女子	2年 男子	2年 女子
・人口減少はもう止められない。だからこそ、それを前提としてどう考えるかが大切だと気付いた。 ・理想の姿や誰かの喜んでいる顔を思い浮かべながら、困りごとの原因を解決・克服する方法を模索することが大切だと学んだ。	・「課題＝理想－現実」 僕らが考える理想の生活と、現実の状況との差が“課題”であることがよくわかった。 ・毎年、生徒から同じことが課題だと挙げられているが、世代ごとに課題だと感じていることは違うということがわかった。	・「課題＝理想－現実」 理想だけでなく、現実を見据えて、考えを深めることが大切だ! ・困りごとがなぜ起こっているのか、見て、聞いて、調べて、解決・克服する方法を考える。それを実行して、評価し、改善するまでやりたい。

11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナリープで目標を達成しよう



ご意見・ご感想などは、吉城高校・キャリア推進部までお問い合わせください。

☎ 0577-73-4555